

財務大臣 麻生太郎 様

2018年3月20日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

「モリ・カケ問題徹底追及！神戸デモ」実行委員会

650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-6 茶本ビル 5F

森友学園問題を徹底究明するために、安倍昭恵氏の証人喚問を求めるとともに、麻生太郎財務大臣の即刻辞任と安倍内閣総辞職を要求します。

私たち実行委員会に結集するものは昨年2月から、森友問題の真相を明らかにせよと、様々な形で運動を展開してきました。佐川宣寿・前国税庁長官は、財務省理財局長在職当時に森友事件の証拠文書を「破棄した」と国会で答弁しましたが、国民の激しい抗議やデモの前についに3月9日、辞職・退職しました。公務員として為すべからざる公文書改ざんの犯罪行為が、国民の厳しい声で断罪されたからです。

麻生財務大臣は、佐川氏を最後まで「適材適所」と持ち上げ国民と国会を欺くとともに、佐川氏の辞任後の現在、すべての責任を佐川氏一人に押しつけ、「私は知らない」と逃げ切ろうとしています。しかし、この言葉が白々しいウソであることを私たち国民は見抜いています。一官僚が個人の判断だけで、安倍首相夫妻を守るために、大掛かりな公文書の改竄をするはずはありません。

私たちは、決して「トカゲのしっぽ切り」は許しません。

森友問題で最も責任があるのは、ほかならぬ安倍首相夫妻です。文書改ざんの動機は、安倍首相を守るためであり、佐川氏の国会答弁は、安倍首相をかばってなされたものです。このことは、だれの目にも明らかです。安倍首相は衆院予算委で「私や妻が関係していたということになれば、…それはもう間違いなく総理大臣も国会議員もやめるということのはっきりと申し上げておきたい」と断言しました（2017年2月17日）。この言葉は担当部局へ「私と妻の関与の証拠は削除するように」と言うメッセージになったはずですが、

佐川氏には、文書改ざんが明らかになった以上、証人喚問でこれ以上ウソを重ねることなく真実を述べることを強く要求します。

あわせて、真実を明らかにするために、籠池泰典氏を証人喚問したと同様に安倍昭恵氏の証人喚問を要求します。

主権者である国民を甘く見て、口先でごまかそうとする政治はもう通用しません。

麻生財務大臣はただちに辞任するよう強く要求します。また、安倍総理大臣は国政を私物化したうえ、部下に公文書の書き換えを余儀なくさせ国会を愚弄した責任を認め辞任すること。さらに内閣ぐるみで事件の解明を一年以上も妨げてきた安倍内閣の即刻総辞職を強く要求します。

以上